

「豊平地区学校配置検討委員会」に関する 住民説明会開催報告

札幌市教育委員会生涯学習部学校規模適正化担当課

開催概要

開催日時

令和4年11月25日(金) 16時00分～20時00分
令和4年11月26日(土) 10時00分～16時00分

会場

豊平会館(札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12)

来場者数

45人(2日間延べ)

開催内容

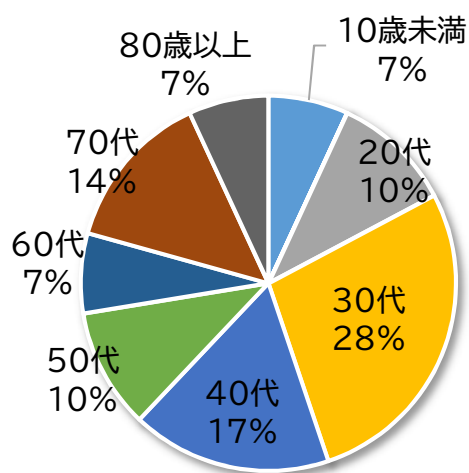
会場内にパネルを展示し、個別にご意見・ご質問をお伺いするオープンハウス型の住民説明会を開催しました。

会場の様子

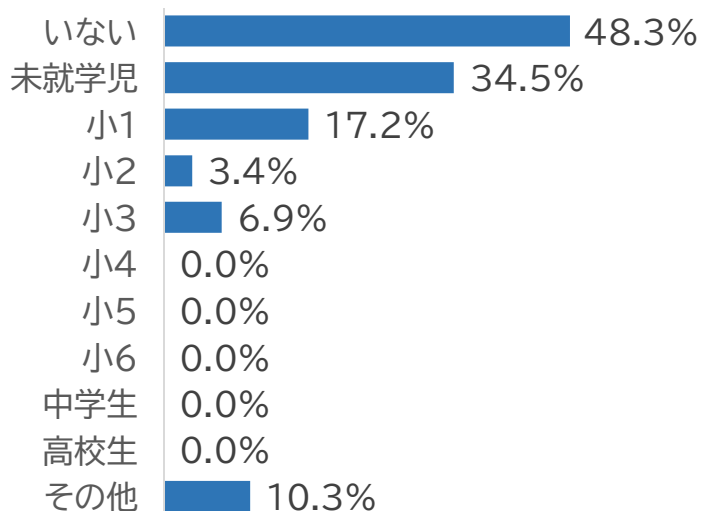


ご来場者アンケート集計結果

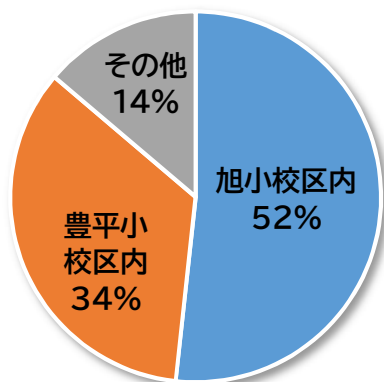
Q 年齢を教えてください



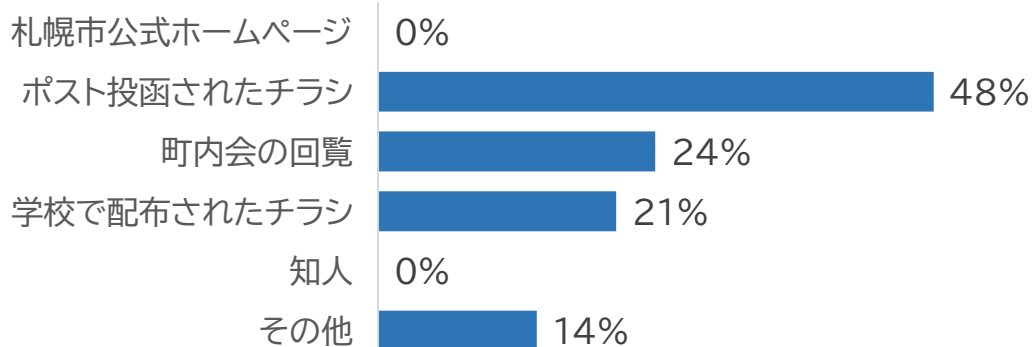
Q お子様の学年を教えてください
(複数回答可)



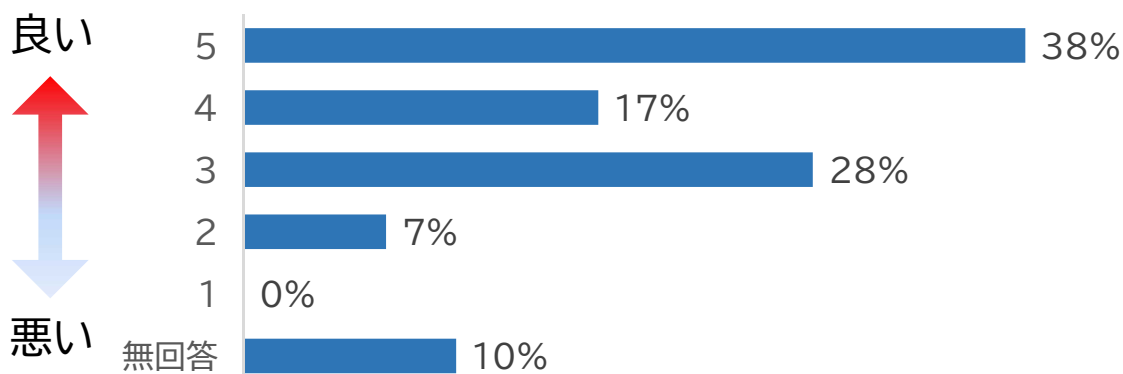
Q お住まいの地域を教えてください



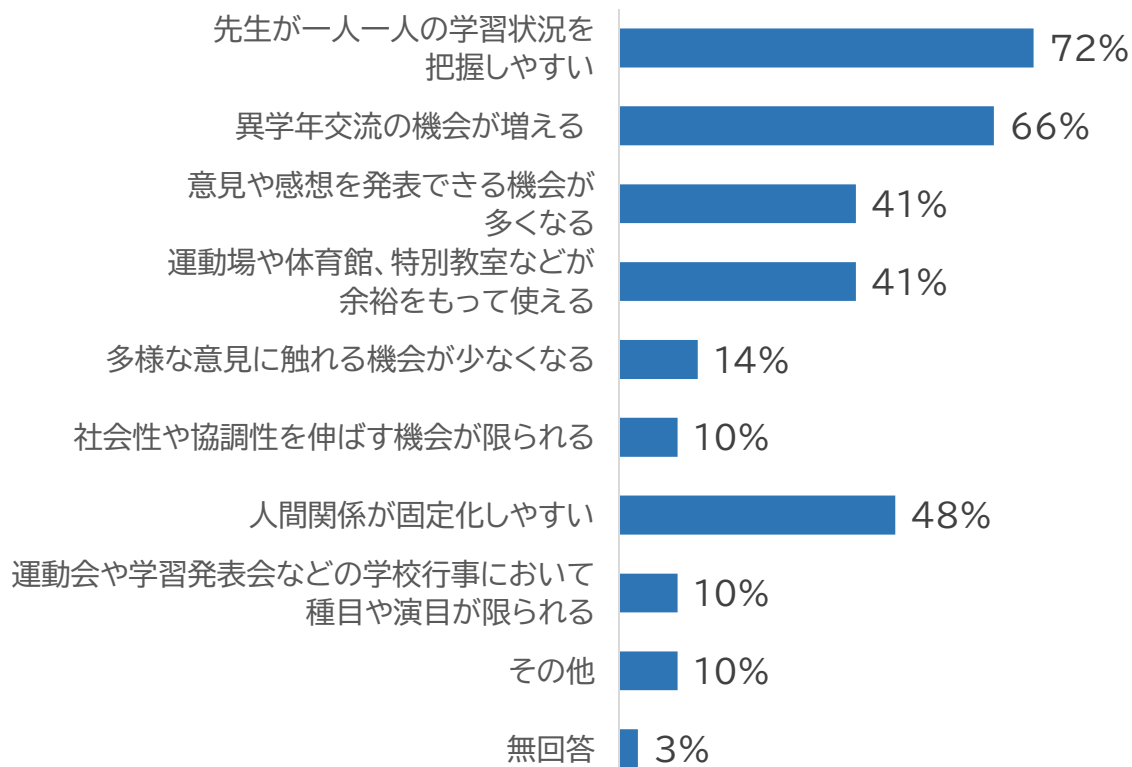
Q 今回の説明会を何で知りましたか(複数回答可)



Q 説明会の内容はどうでしたか(5段階評価)



Q 小規模校にどのようなイメージがありますか(複数回答可)



学校の統合や今回の説明会の内容についていただいた主なご意見

- 小規模校のデメリットをあまり考えたことが今までありませんでした(自分は小規模校出身で、先生や児童はみんな仲良し、また、色々なことに挑戦させてくれる学校だったので・・・)。児童数が少なくてもいいのに、という考えでしたが、多面的な意見やメリット・デメリットを知る事が出来ました。他人事ではなく、地域で考えることとして一緒に考えていく機会をありがとうございました。
- 旭小学校の卒業生です。小学校が廃校になることに寂しさを感じます。校歌もまだ覚えている程。学校名に「旭」はもう入らないと思うと悲しいです。少子化が背景にあるので仕方ないとも思います。子ども達には同学年の他のクラスとも交流して欲しいのでクラスは多い方が成長にも繋がると 생각합니다。校歌が無くなるのは寂しいなと思います。パネルを同級生に共有させていただきます。ありがとうございました。
- 旭小を残存して、改修して、防災化小学校として再出発させ残すべき。町内会は学校とタイアップして生き残っているのも、学校が無くなると町内会という組織が消滅する事に繋がる。また、神社等々との奉賛関係とも関わりが薄くなってしまふ。
- 子どもが統合に直接関わる年齢だと予想されます。在学中の統合が予想されるので、子どもの精神面、物理的な事情を細かくケアできるよう、多くの情報、話し合いが望まれます。
- 教職員の負担と児童の教育機会を適正にするため、学校の統合は必要と考える。説明会については、Web上で時間を気にせず開催して欲しかった。パネル、配布資料を掲載したページにアクセス出来るようにした方が時間の制約、感染症対策を気にせずに済んだと思う。札幌市の学校の統合に関する説明ページのデータが平成29年で終わっていたので更新して欲しい。
- 小規模校に利点を感じます。ドイツで生活していましたが、日本の教育はもっと学ぶべき点があると思います。小規模校も大切にしてもらいたい。
- 地図上で、豊平小を中心とした2kmの円を描いてあると良い。平岸通の横断箇所が少なく心配。特に冬が心配。通学距離が長く、冬、子どもの足では片道40～50分かかる地域もあると思われる。統合はやむを得ないと考えている。統合前の暫定措置として、統合前1～2年、入学校を旭小・豊平小で選べるようにしてはどうか。旭小は旭水町内会や老人施設、大学などと密接に連携していた。石山緑小は、まちづくりセンターと併設され、うまく連動している。豊平でもうまくいくよう希望する。